

1 府立布施工科高等学校・府立城東工科高等学校統合整備による新校の教育内容

府立布施工科高等学校・府立城東工科高等学校統合整備による新校の「スクール・ミッション」、「生徒に育みたい力」、「特色」、「設置する系・専科」については、以下のとおりとする。

(1) スクール・ミッション

ものづくりのまち東大阪市にある工業技術を学ぶ高校として、技術の進歩や社会情勢の変化に対応し、社会や地域の課題解決や新たな価値の創出に貢献できる力を育み、次世代の産業技術者・研究者・開発者として、産業界や社会インフラを支え、グローバル社会に対応できる人物を育成する。

(2) 生徒に育みたい力

- ①幅広い知識を得て、複合化する技術進展の課題に対応できる力
- ②自身の職業観を育みながら、進路実現に向け、学び続ける力
- ③規範意識を身につけるとともに、他者と協力・協働できる力

(3) 特色

①ICT 技術を活用した新しい学び

先端技術に対応した実習機器を導入し、PC スキルをはじめとしたこれからの時代に対応できるデジタル技術を習得できる実習を展開。

また、PBL（課題解決型学習）やデジタル技術の活用によって、分野の垣根を超えた横断的な学びを実施。

②大阪府で唯一の学び

人の生活に不可欠な“住環境”に関することの学びに加えて、建物や道路等の設計や測量、構造、施工法など建築・設備・都市工学を総合的に学べる都市住宅系を設置。

③多方面と連携したキャリア教育の充実

地元東大阪を中心としたものづくり企業や高度な専門教育を行う大学・専門学校等と連携し、専門性の高い技術者等から実践的な実技指導を受けるとともに、生産現場等で学ぶ長期企業実習を実施。また、進学を希望する生徒のニーズに応えられるよう必要な教科・科目の学習の充実を図るとともに、大学等の見学会の実施や工科高校独自の推薦入試制度も積極的に活用するなど、生徒の進路実現をサポート。

(4) 設置する系・専科（4つの系と7つの専科）及び学習内容の例

①機械工学系（仮称）

○マシンコントロール専科（仮称）

- ・システム制御、コンピュータによる設計（CAD/CAM）など、プログラムを中心とした制御技術を学ぶ。

○メカニクステクノ専科（仮称）

- ・基本的な工作機械や計測機器をはじめ、最先端の機器（高性能加工機、モデリングマシン）等を活用したプログラム制御によるデジタル加工技術を学ぶ。

②情報工学系（仮称）

○エレクトロニクス専科（仮称）

- ・電気に関するあらゆる業務に対応できるよう電気・エネルギーに関する知識と技術を学ぶ。

○ICT ネットワーク専科（仮称）

- ・電子回路の製作、シーケンス制御など、AI・IoTに必要なプログラミング制御技術を学ぶ。

③都市住宅系（仮称）

○アーキテクト専科（仮称）

- ・幅広い建築の基礎をはじめ、これからの生活スタイルに合わせた住宅設計や、コンピュータによる設計（CAD）、3Dプリンターでの造形などのデジタル技術を学ぶ。
また、建築施工管理やカラーコーディネートなどの資格取得をめざす。

○インフラ専科（仮称）

- ・ライフラインである電気・ガス・水道をはじめ、測量や防災計画、ドローン技術など社会基盤を支えるインフラを学ぶ。

④工学系（仮称）

○大学進学専科（仮称）

- ・工業技術者の理論を学ぶ工学系大学への進学を見据えたカリキュラムに加え、各分野の基礎実習を幅広く実施し、「将来の高度技術者」の育成をめざす。

(5) 新校開校までの今後のスケジュール

令和 6年 3月	教育委員会会議（系・専科等の教育内容公表）
3月29日～4月26日	新校 校名募集
6月	教育委員会会議（校名仮称決定）
9月	府議会において、府立学校条例改正案の議決により校名正式決定
令和 7年 3月	令和7年度入学者選抜
3月	大阪府立高等学校等の管理運営に関する規則 改正
4月	新校 開校